

学年	2	週単位時間数	1	年間単位時数	35	授業集団	学年	使用教室	学習室
資質・能力		(情)情報を収集する力 (コ)コミュニケーション力 (他)他の人を理解する力 (自)自己を理解する力 (協)協働する力 (地)地域で生活する力							
目標		① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等							
① 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などを通して基礎的な知識及び技能を身に付けるようにする。									
② 観察・実験などを行い、課題解決の方法を適切に選び、他者に伝えることができるようにする。									
③ 学習に主体的に取り組むとともに、日常生活で活かそうとする態度を身につけるようにする。									

学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連する資質・能力の表示 関連教科は★付けて表示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4 ～ 5 月	「オリエンテーション」 「植物の養分と水の通り道」 ★家庭	・一年間の見通しを持つ。 ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることや根、茎及び葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解する。	・年間計画の提示。 ・自然の事物・現象について実際に提示したり、ICT機器を活用し、動画や写真を使用したりして考察・予測する。
6 月	「天気の変化」	・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解する。 ・映像などの気象情報を用いて予想することができる。	
7 ～ 10 月	「流れる水のはたらきと土地の変化」 「一日防災教室」	・流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることや雨の降り方によって水の速さや量が増し、地面を大きく浸食したり、石や土を多量に運搬したり堆積させたりして、土地の様子が大きく変化することを理解する。	・実験や体験的な活動を通して、結果の予想や仮説を考えたり、課題解決の方法を振り返ったりする。
11 月	「学校祭」 ★社会 「人の体とつくりとはたらき」 ★家庭、保健体育	・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが排出されることを理解する。 ・食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解する。 ・血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解する。 ・体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解する。	・問題解決のために対話的な学習を通して、他者と協力しながら予測・考察する。
12 月			
1 月	「電流のはたらき」	・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解する。	
2 月	「電流のはたらき」 「生物と環境」 ★家庭	・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解する。 ・生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることや生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解することができる。	
3 月	「生物と環境」 ★家庭 「まとめ」	・生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることや生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解することができる。	・一年間の振り返りを行う。

評価の観点	① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力、人間性等
① 自然の事物・現象についての基本的な知識や観察・実験などの技能が身についている。 ② 課題解決の方法を適切に選び、他者に伝えている。 ③ 学習に主体的に取り組む、日常生活で活かそうとする態度が身についている。			

